

# 住まいが被害を受けたとき 最初にする事

災害で住まいが被害を受けたときは、あまりのショックに、何から手を付けたらいいか分からなくなるかもしれません。被災者の方々が一日も早く日常の生活を取り戻せるように、行政も様々な支援に動き出します。それらの支援も受けながら、一歩ずつ再建を進めていきましょう。その支援を受けるためにも、被害状況を写真で撮るようお願いします。

## 家の被害状況を写真で記録しましょう

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。市から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、たいへん役に立ちます。**ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。**

メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。(浸水の高さを図る場合はメジャーの目盛りが読み取れるように撮影しましょう。)

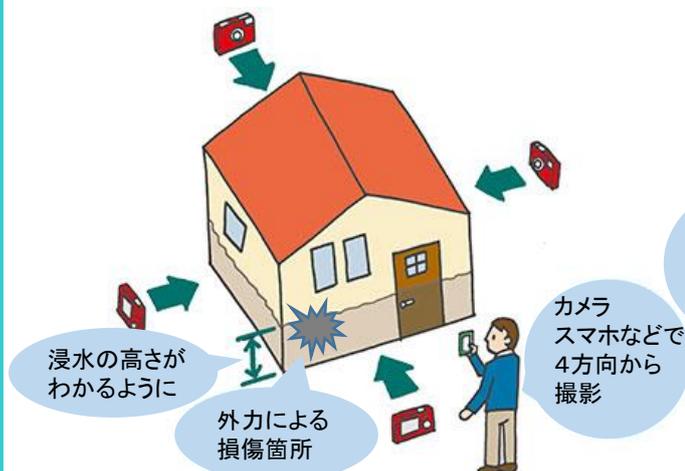
### 家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 水害の場合は、浸水の高さがわかるように撮りましょう。
- 外力による損傷箇所がわかるように撮りましょう。

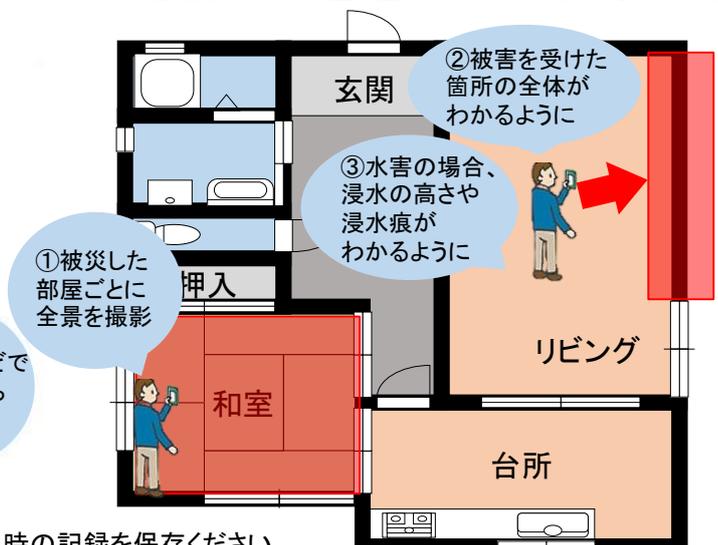
### 家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、
  - ①被災した部屋ごとの全景写真
  - ②被害箇所の「寄り」の写真
  - ③水害の場合は浸水の高さや浸水痕がわかるように撮影しましょう。<想定される撮影箇所>  
内壁、床、窓、出入口、襖など

### <イメージ図>



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



※カメラの日時設定は正確にしておき、写真の撮影日時の記録を保存ください。

